

2019 年度 館林ケーブルテレビ放送番組審議会 議事録

- 1.開催日時 2020 年 2 月 5 日（水） 11:30～13:00
- 2.開催場所 館林ケーブルテレビ（館林市美園町 13-2）
- 3.委員の出席 審議委員総数 16 名
出席委員数 13 名（随行 1 名）

■出席者（敬称略）

須 藤	和 臣	会 長	（館林市長）
飯 塚	哲 也	副会長代理	（板倉町総務課情報広報係長）
富 塚	基 輔	委 員	（明和町長）
高 橋	純 一	委 員	（千代田町長）
横 山	淳 一	委員代理	（邑楽町企画課課長）
鹿 沼	義 一	委員代理	（館林商工会議所中小企業相談所長）
小 池	敏 郎	委 員	（板倉町商工会会長）
石 倉	利 昭	委 員	（明和町商工会会長）
高 野	広	委 員	（千代田町商工会会長）
中 繁	基	委 員	（邑楽町商工会会長）
福 地	保 幸	委 員	（館林地区消防組合消防本部消防長）
青 木	文 雄	委 員	（板倉町行政区長会会長）
景 山	初 女	委 員	（板倉町教育委員会教育長職務代理者）

■ケーブルテレビ株式会社 出席 5 名

高 田	光 浩	（代表取締役）
清 水	研 児	（コンテンツ部課長代理）
関 口	百合子	（コンテンツ部 TV グループ係長）
横 山	拓	（コンテンツ部 TV グループ主任）
吉 武	柚 美	（コンテンツ部 TV グループ）

4. 報告事項

【全体】

- (1) 新委員の委嘱に関する報告
- (2) 放送エリア及び加入状況に関する報告
- (3) ケーブルテレビの主な取り組みに関する報告
- (4) 昨年の審議会でのご指摘・進捗状況報告

【コミュニティチャンネル関連】

- (1) ①2019 年度コミュニティチャンネルに関するご報告

【視聴番組】

- 台風 19 号緊急生放送
- 「110・119 くらしを守る警察・消防」
- 館林邑楽まちドラマ「もしもキセキが起きたなら～この群馬の片隅で～」

②現在放送中のレギュラー番組（2019 年実績）

③特別番組（2019 年実績）

- (2) その他

5. 議事

- (1) 本日視聴した番組に関するご意見・ご質問
- (2) コミュニティチャンネル全般に関するご意見・ご質問

質問・回答

【委員】まちドラマに関して、各地域の特長が表れている。こうした番組は若い世代が地域に関心をもつきっかけになると思う。今後もこのような企画をしてほしい。

【CATV】スタッフ、出演者など、すべて地元の方で作り上げた。こうした機会ができたこと、色々な方から「よかった」との声をいただいたことなど、今回の経験を糧にして今後も制作していきたい。また、地域の良さを住民、市外町外の人に知っていただく機会になった。今後も自治体の方などのご協力をいただき、継続して企画していきたい。

【委員】台風 19 号に関して、群馬エリアだけでなく栃木市の様子も分かったのがよかった。状況を早く放送してくれたので、被害を受ける前に対処できた。

【CATV】想定を上回る被害となった。今回は、5年前の関東・東北豪雨の際に行った緊急放送の反省点を生かし、特別警報が発表される前に放送を始めることができた。

【委員】台風19号に関して、合の川河川防災ステーション（板倉町にある避難所）に多くの人が集まっていたが、避難所にはテレビがなくラジオだけだったため、避難所でも放送できるようにしてほしい。

【CATV】すべての避難所に対してできることではないが、自治体様と相談しながら検討していく。例えば、自治体様にご協力いただきながら設置を進め、利用料は弊社が負担するなど、やり方を相談していきたい。

【委員】埼玉県（北川辺周辺）にエリア拡大の予定はあるか。

【CATV】子会社の古河ケーブルテレビのサービスエリアの一部で南栗橋が入っている。久喜市や加須市など、群馬県に接している地域に関してエリア拡大の検討を始めた。板倉町と隣接する北川辺に関しても検討していく。

【委員】「110・119 暮らしを守る警察・消防」に関して、消防は広報の仕方に苦慮していたので、番組で放送できて感謝している。地域の皆様の印象に残る放送をしていきたい。また、視聴者の年齢に合わせて情報を発信したいが、視聴者の年齢層は把握できるのか。

【CATV】契約者の年齢層は分かるが、家族構成、実際に見ている人の年齢層まで把握することは難しい。一般的にケーブルテレビの視聴者の7割が60歳以上で、50歳以上が地域への関心が高い傾向といわれている。当社のアンケート結果からも、視聴者は高齢の方が多いと考えられる。今後は、若い世代が観たいと思う番組づくりも行っていき、どの世代にも見てもらえる内容・編成にしていきたい。

【委員】まちドラマに関して、初めての実施ということだが出来がよかった。例えば2年に1回という期間で、自治体も協力できるのではないか。

【委員】今年は群馬デスティネーションキャンペーンの年だが、館林市邑楽郡は観光PRがうまくできていない。ケーブルテレビはエリアが広いので、広域でPRしていきたい。町の活性化のため婚活番組の企画をしてみてもどうか。

【CATV】地域に人を呼ぶことが活性化につながる。今後、地域の良さをPRする番組を作りケーブルテレビのネットワークを活用して全国に発信していきたいと考えている。

芸能人の活用など、来期はチャレンジしていきたい。1つの町だけでなくケーブルテレビの3エリアで広く告知し、人口の流出を防ぐ。

栃木エリアでは商工会議所と一緒に「就活イベント」を企画し、毎年2月に開催している。婚活も含め、様々な企画を検討していきたい。

【委員】就活イベントの結果はでているのか。

【CATV】実際に採用試験に進み、入社につながった事例も多い。エリア内の中小企業を対象に、今後、説明・提案し実施につなげたい。

【委員】自治体広報番組「はっしや・邑楽ィ」に関して、視聴者からご意見はあるか。

【CATV】自社で行っているアンケートの結果では、自治体広報番組に関して、「よく見る番組」の項目にチェックが入っていることは多く、興味があることが分かる。お叱りをもったことはないが、ご意見を頂いた場合はお伝えしていく。

【委員】台風19号に関して、112chのライブカメラでの河川の状況が、夜は暗くてよく見えなかった。

【CATV】夜間でも見える暗視カメラを導入する予定。

【委員】昨年の番組審議会の中であった会社見学の進捗はどうか。

【CATV】小学校児童の社会科見学については、移動手段がバスとなり、比較的遠く（富岡製糸場や工場など）が多いと聞いている。高齢者の方は、公民館でのサロン活動団体などに多く見学していただいている。子ども向けとしてエントランススペースにおもちゃを展示し、キッズスペースを創設した。栃木エリアでは数多くの会社見学を受け入れているので、引き続き、教育委員会や学校関係に呼び掛けていく。